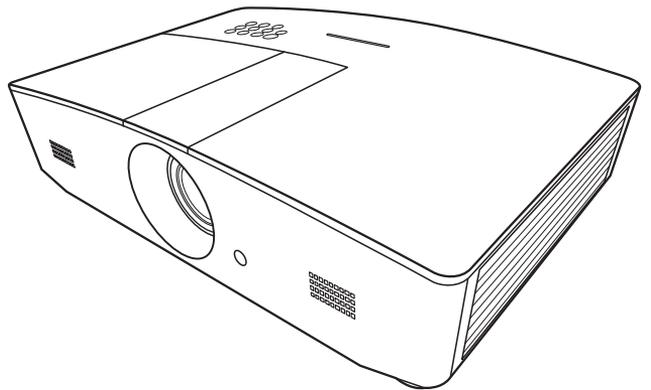


JVC

取扱説明書

DLP プロジェクター

LX-WX50



目次

安全のために	3	OSD メニューの構造	30
安全のためのご注意	4	プロジェクターを遠隔 操作する	32
概要	7	LAN 設定を行う	32
パッケージ内容	7	ウェブブラウザを使ってプロジェク ターを操作する (e-Control™)	33
プロジェクター外観ビュー	8	PJLink™ を使ってプロジェクター を操作する	35
制御装置および機能	9	メンテナンス	38
コントロール パネル	9	プロジェクターのお手入れ	38
リモコン	10	ランプについて	39
インストール	12	ランプ時間を知るには	39
場所の選択	12	ランプ寿命を延長する	39
スクリーンサイズの調整	13	ランプを交換する時期	40
投写サイズ	13	ランプの交換	41
投写レンズの縦シフト	14	インジケータ	44
接続	15	問題を解決する	45
操作	16	仕様	46
プロジェクターの起動	16	プロジェクターの仕様	46
プロジェクターの終了	16	外形寸法	47
入力ソースの選択	17	タイミングチャート	48
投写画像の調整	18	保証と著作権について	53
投写角度の調整	18	保証	53
画像の自動調整	18	著作権	53
画像サイズと明瞭さの微調整	18	おことわり	53
台形補正	19		
相当する画像の角です。	19		
メニュー機能	20		
OSD メニューについて	20		
OSD メニューの使用方法	20		
表示メニュー	21		
ピクチャーメニュー	23		
ソースメニュー	25		
システム設定：基本メニュー	26		
システム設定：詳細メニュー	27		
情報メニュー	29		

安全のために

本製品には、水銀を含む高輝度放電ランプ (HID) が使用されています。お住まい地域の規定にしたがって処理してください。これらの素材の廃棄については、環境保全に配慮してお住まい地域で条例により定められている場合があります。廃棄または再利用についての情報は、お住まい地域の行政機関にお問い合わせください。米国の場合は、Electronic Industries Alliance : <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。電話番号 : 1-800-252-5722 (米国) または 1-800-964-2650 (カナダ)。

FCC 情報 (米国のみ)

注意 :

JVC が認めない変更または改ざんを行った場合は、この装置を使用する権利が無効になります。

注 :

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変える、または設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ / テレビの技術者に補佐を求める。

適合宣言

モデル番号 : LX-WX50

商標 : JVC

発売元 : JVCKENWOOD USA Corporation

所在地 : 1700 Valley Road Wayne, N. J. 07470

電話番号 : 973-317-5000

この機器は FCC 規定の 15 部に従います。

その操作は次の条件に従います。

(1) この機器は有害な干渉を生じないこと (2) この機器は不都合な操作を生じる可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受けること。

ノイズの発生についての宣言

操作者の位置における音圧レベルは、ISO7779 の規定に従って 60dB(A) と同等、またはそれ以下です。

お客様へ

本製品は、電磁気の互換性と電気的な安全性について、ヨーロッパの有効な指令と基準に準拠しています。

ヨーロッパにおける代表者は、JVC KENWOOD Corporation です。JVC Technical Services Europe GmbH Konrad-Adenauer-Allee 1-11 61118 Bad Vilbel Germany

使用済み装置とバッテリーの廃棄について



【ヨーロッパ連合のみ】

これらの記号は、これらの記号が付いている装置を一般の家庭用ゴミとして廃棄できないことを意味しています。本製品またはバッテリーを廃棄する場合は、回収業者か適切なりサイクル業者に依頼してください。

注意：バッテリーの下に記載されている Pb 記号は、このバッテリーに導線が含まれていることを意味しています。

安全のためのご注意

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
 - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
 - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。
 - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。
3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクターが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。
4. 次の場所に装置を置かないでください。
 - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
 - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
 - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。
 - 火災報知器に近い場所。
 - 「**プロジェクターの仕様**」に記載される値を超える場所。
5. プロジェクター動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）。
 - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
 - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
6. メインの電源電圧が ±10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクターを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお勧めします。
7. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
8. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクターに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクターを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクターを外し、JVC にご連絡の上プロジェクターの点検をご依頼ください。

9. 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



RG2 IEC 62471-5:2015

10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。
12. プロジェクターが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。
13. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。適切な天井取り付けキットをご使用ください。
14. この装置は接地されていなければなりません。
15. 本体を設置する際は、デバイスに手が届きやすい固定配線に繋ぐか、本体の近くにある手が届きやすいコンセントに電源を繋いでください。本体操作時にエラーが発生した場合は、電源を切るか、コードをコンセントから抜いてください。

高温についてのご注意

動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。火傷の原因となることがあります。これらに手を触れないでください。触れると、火傷する恐れがあります。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やケガの原因となることがあります。

プロジェクターの天井取り付け

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、プロジェクター専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

そうしなければ、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

適切なプロジェクター専用天井取り付けキットは、プロジェクターを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくこと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、ランプのみです。詳細は [41](#) ページを参照してください。

いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。

- ⚠ 将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクターを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタークッションをぴったりとくっつけてください。

点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクターを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクターの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態では放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード（はんだに使用されています）
- 水銀（ランプに使用されています）

製品や使用済みランプを処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

概要

パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

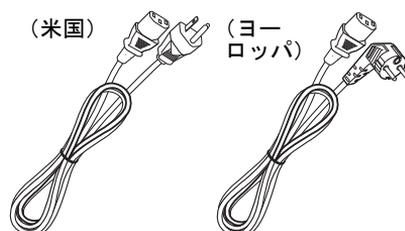
☞ 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。



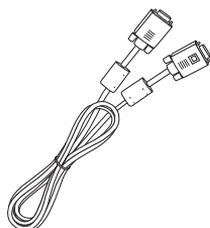
プロジェクター



リモコン（電池付き）*



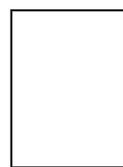
電源ケーブル



VGA ケーブル

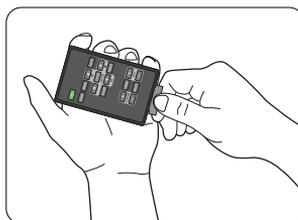


取扱説明書 CD



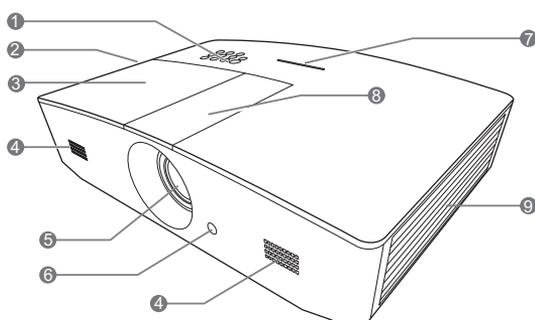
クイックスタートガイド

* リモコンをご使用になる前に、つまみを引いてください。



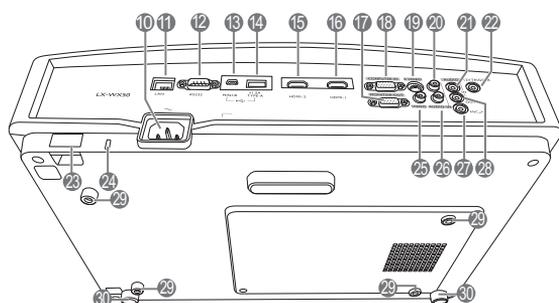
プロジェクター外観ビュー

前面 / 上面



1. コントロールパネル（詳細は「コントロールパネル」を参照してください。）
2. 通気（熱気排出）
3. ランプカバー
4. スピーカー グリル
5. 投写レンズ
6. 正面赤外線リモートセンサー
7. LED 表示灯
8. レンズ調整パネルカバー（詳細は、「コントロールパネル」を参照してください）

背面 / 底面



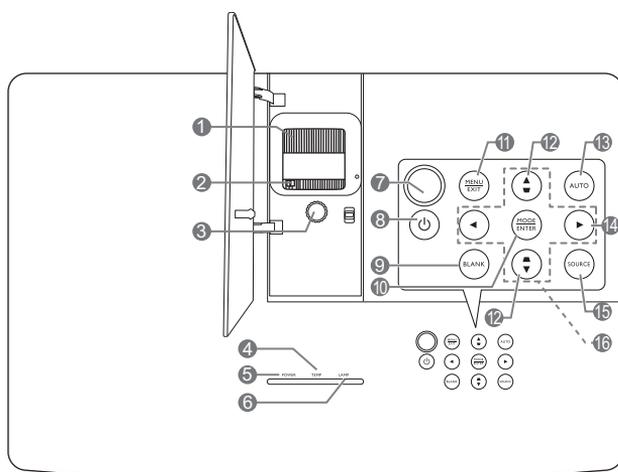
9. 通気（冷氣取り込み）
10. AC 電源コード差し込み口
11. RJ45 LAN 入力端子
12. RS-232 コントロールポート
13. Mini USB ポート
補修用です。
14. USB Type-A ポート
外部デバイスの充電に使用します。
15. HDMI-2 ポート
16. HDMI-1 ポート
17. RGB 信号出力端子
18. RGB (PC)/ コンポーネントビデオ (YPbPr/YCbCr) 信号入力端子
19. S ビデオ入力端子
20. オーディオ (R) 入力端子
21. オーディオ入力端子
22. 12VDC 出力端末

電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。

23. セキュリティバー
24. Kensington ロックスロット
25. ビデオ入力端子
26. オーディオ (L) 入力端子
27. マイクロフォン端子
28. オーディオ出力端子
29. 天井取り付け用の穴
30. 高さ調整脚

制御装置および機能

コントロール パネル



1. ピントリング

投写イメージの焦点を調整します。

2. ズームリング

画像のサイズを調整します。

3. レンズシフトリング

投写イメージの位置を調整します。

4. TEMP (温度警告ライト)

プロジェクターの温度が異常に高くなると赤く点灯します。

5. POWER (電源インジケータ ライト)

プロジェクター動作中に点灯または点滅します。

6. LAMP (ランプインジケータ ライト)

ランプの状態を示します。ランプに問題が発生すると、点灯または点滅します。

7. 上 IR リモートセンサー

8. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

9. BLANK

スクリーンに表示されている画像を消します。プロジェクターかリモコンを押すと、映像が復帰します。

10. MODE

画像設定モードを選択します。

ENTER

選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

11. MENU

- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスします。
- 前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

EXIT

前のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。

12. 台形補正キー (▼、▲)

台形補正画面が開きます。正面以外の方向から投写した結果歪んだ画像を手動で補正する場合は、◀、▲、▶、▼ を使用します。

13. AUTO

自動的に最高の画像 タイミングが決定されます。

14. ▶

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を 3 秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューを設定します。

15. SOURCE

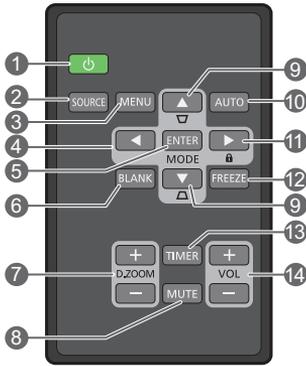
ソース選択バーを表示します。

16. 矢印キー (◀、▲、▶、▼)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD)

メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

リモコン



1. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. SOURCE

ソース選択バーを表示します。

3. MENU

- ・ オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスします。
- ・ 前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

4. 矢印キー (◀左、▶右、▲上、▼下)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

5. ENTER

選択したオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

MODE

使用可能なピクチャモードを選択します。

6. BLANK

スクリーンを消画します。プロジェクターからリモコンを押すと、映像が復帰します。

7. D. ZOOM+/D. ZOOM-

ズームバーを表示します。

- ・ **D. ZOOM+** : ズームバーが表示されたら、投写した画像サイズを拡大します。画像が拡大されたら、▲/▼/◀/▶ を使って画像をナビゲートします。
- ・ **D. ZOOM-** : 画像を拡大すると、投写画像のサイズが縮小されます。画像を元のサイズに戻すには、**AUTO** を押します。

8. MUTE

音声を一時的に消します。

9. 台形補正キー (◻、▣)

台形補正画面が開きます。正面以外の方向から投写した結果歪んだ画像を手動で補正する場合は、◀、▲、▶、▼ を使用します。

10. AUTO

表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

11. 🔒

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を 3 秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューを設定します。

12. FREEZE

投写画像を静止します。

13. TIMER

タイマー設定に基づいてオンスクリーンタイマーを有効または非表示にします。

14. VOL+

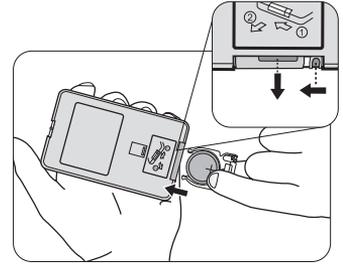
プロジェクターの音量を上げます。

VOL-

プロジェクターの音量を下げます。

リモコンの電池の装着 / 交換

1. 図のように、バッテリーホルダーを引き出します。バッテリーホルダーを引き出す間、ロックアームを押したままにしてください。
2. 新しい電池を入れます。+極が外側を向くようにしてください。
3. ホルダーをリモコンに戻します。



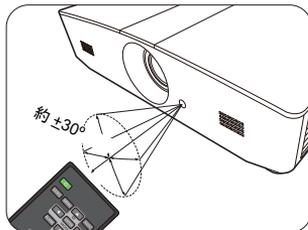
- ⚠ リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

リモコンの有効範囲

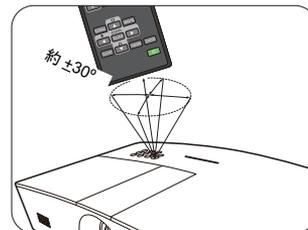
リモコンはプロジェクターのIRリモコンセンサーに対して垂直に30度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8メートル（～26フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターのIRセンサーの間に障害物を置かないでください。

- 正面からプロジェクターを操作する



- 上からプロジェクターを操作する



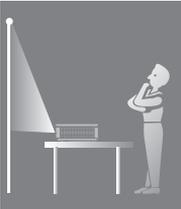
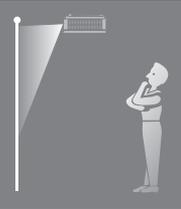
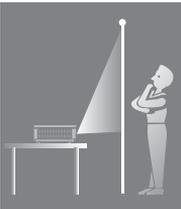
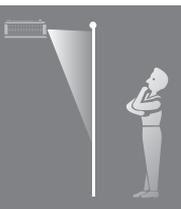
インストール

場所の選択

プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他の機器の間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

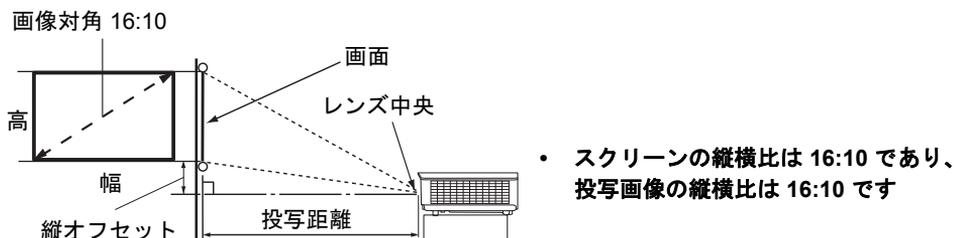
<p>1. 前面投写： プロジェクターをスクリーンの正面に床面近くに設置します。 これが最も一般的な設定です。 プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。 システム設定：基本 > プロジェクタの投写位置 > 前面投写</p>		<p>3. 天井前面投写： プロジェクターをスクリーン正面の天井に取り付けます。 プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。 システム設定：基本 > プロジェクタの投写位置 > 天井前面投写</p>	
<p>2. リア投写： プロジェクターをスクリーン背面、床面近くに設置します。 プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。 システム設定：基本 > プロジェクタの投写位置 > リア投写</p>		<p>4. 天井リア投写： プロジェクターをスクリーン背面の天井に取り付けます。 プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。 システム設定：基本 > プロジェクタの投写位置 > 天井リア投写</p>	
<p>☞ 専用の背面投写用スクリーンが必要です。</p>		<p>☞ 専用の背面投写用スクリーンと、適切な天井取り付け用キットが必要です。</p>	

スクリーンサイズの調整

プロジェクター レンズからスクリーンまでの投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

投写サイズ

投射距離を決定するには、下の図と表をご覧ください。



ディスプレイサイズ (16:10)			投写距離		縦オフセット (インチ)
画像対角 (インチ)	幅 (インチ)	高 (インチ)	ワイド (フィート)	テール (フィート)	
60	50.9	31.8	4.8	7.6	1.6
70	59.4	37.1	5.6	8.9	1.9
80	67.8	42.4	6.4	10.2	2.1
90	76.3	47.7	7.2	11.5	2.4
100	84.8	53.0	8.0	12.7	2.6
110	93.3	58.3	8.8	14.0	2.9
120	101.8	63.6	9.5	15.3	3.2
130	110.2	68.9	10.3	16.6	3.4
140	118.7	74.2	11.1	17.8	3.7
150	127.2	79.5	11.9	19.1	4.0
160	135.7	84.8	12.7	20.4	4.2
170	144.2	90.1	13.5	21.6	4.5
180	152.6	95.4	14.3	22.9	4.8
190	161.1	100.7	15.1	24.2	5.0
200	169.6	106.0	15.9	25.5	5.3
210	178.1	111.3	16.6	26.6	5.6
220	186.6	116.6	17.4	27.9	5.8
230	195.0	121.9	18.2	29.1	6.1
240	203.5	127.2	19.0	30.4	6.4

☞ 測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。プロジェクターを完全に固定する場合は、事前に実際のプロジェクターを使って投射サイズ、距離、プロジェクターの光学的特性をお試しになることをお勧めします。こうすることで、最適な設置場所を決めることができます。

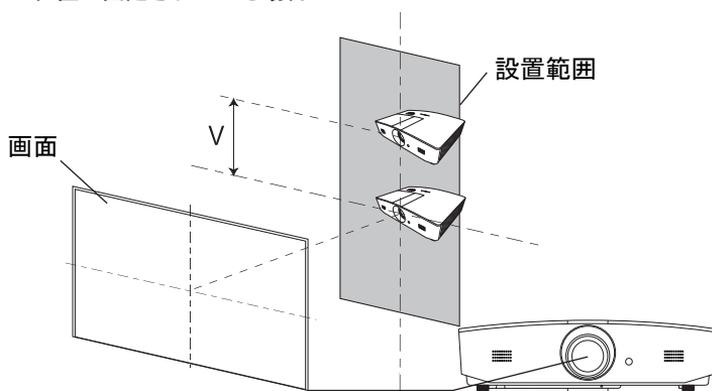
投写レンズの縦シフト

プロジェクターをより自由に取り付けられるように、レンズの縦シフト機能が備わっています。投写画像の上端を少し上げ下げすることができます。

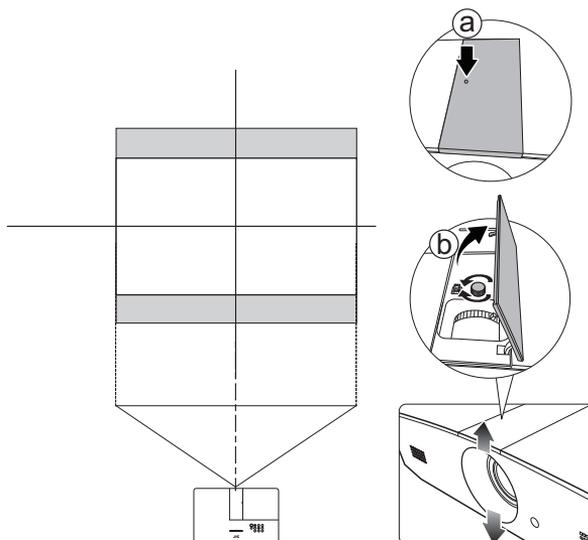
レンズシフト（オフセット）は投写画像の高さのパーセンテージにより表示されます。これは投写画像の縦の中心からのオフセットとして測定されます。レバーを使用すると、画像の位置によって可能な範囲で上下にシフトできます。

レンズのシフト：

1. レンズ調整パネルカバーのスイッチ（1個の点で表示されています）を軽く押すと開きます。
 2. レンズ調整パネルカバーを上げます。
 3. レンズシフトリングを回して投写位置を調整します。
 4. 調整できたら、レンズ調整パネルカバーを閉じます。
- スクリーンの位置が固定されている場合



- プロジェクターの位置が固定されている場合



- レバーは締めすぎないでください。
- 画質が悪い場合はレンズシフト調整が正常に機能しません。画像が歪む場合は、「[投写画像の調整](#)」を参照してください。

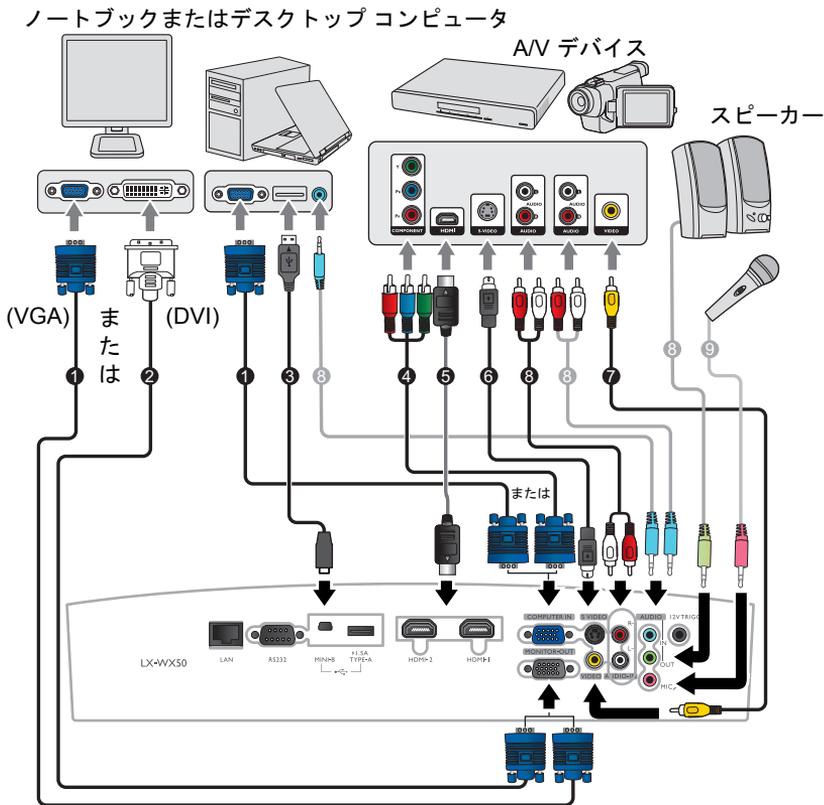
接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

☞ 下に示す接続図では、プロジェクターにケーブルは接続されていません（詳細は、「パッケージ内容」を参照してください）。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。

下の接続図は参照用です。プロジェクターの背面にある接続端子は、プロジェクターのモデル毎に異なります。



1. VGA ケーブル
2. VGA - DVI ケーブル
3. USB ケーブル
4. コンポーネントビデオ - VGA (D-Sub) アダプターケーブル
5. HDMI ケーブル
6. S ビデオ ケーブル
7. ビデオケーブル
8. オーディオケーブル
9. マイクロフォン

操作

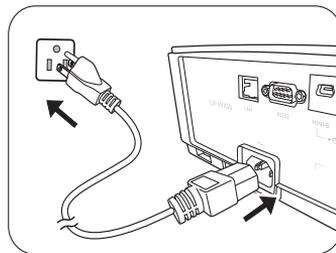
プロジェクターの起動

1. 電源ケーブルをプロジェクターとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入ると、**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色になります。

⚠ 付属の電源ケーブルを使って、感電や火災などの危険を防止してください。

2. **⏻** を押してプロジェクターを起動します。**POWER（電源インジケータ ライト）**が緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

ファンが作動を開始し、ウォームアップする間スクリーンにスタートアップ画像が表示されます。ウォームアップ中は、プロジェクターはいかなるコマンドにも応答しません。

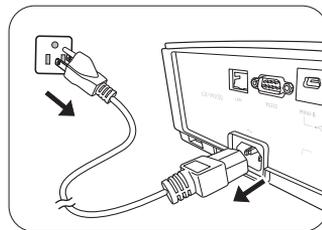


プロジェクターの終了

1. **⏻** を押します。プロジェクターにシャットダウンの確定メッセージが表示されます。
2. 再び **⏻** を押してください。**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色に点滅し、ファンが2分ほど作動してランプを冷却します。冷却中は、プロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
3. 冷却処理が終了したら、**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色に点灯します。

長期間プロジェクターをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。

👉 プロジェクターを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。実際のランプの寿命は、環境や使い方により異なります。



入力ソースの選択

このプロジェクターは同時に複数の装置と接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台のみです。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに常に信号を自動検出させたい場合は、

- ソースメニューに進み、**クイック自動検索**を有効にします。(25ページの「クイック自動検索」を参照してください)

ビデオソースを選択するには：

1. **SOURCE** を押して、ソース選択バーを表示します。



2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **ENTER** を押します。

信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

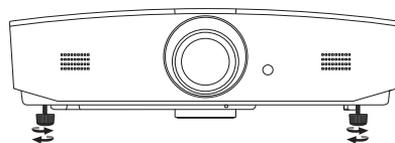
- ☞ このプロジェクターのネイティブディスプレイ解像度については、「**プロジェクターの仕様**」をご参照ください。最高の画質にするには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、縦横比の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、「**縦横比**」を参照してください。

投写画像の調整

投写角度の調整

プロジェクターには2個の高さ調節用フットが付いています。これらの調整用脚を使用すると、画像の高さと投写角度を変更できます。適切な角度になるようにフットを調整してください。

- ☞ スクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、「[画像の自動調整](#)」を参照してください。



- ⚠ ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発せられており、目を傷つける場合があります。

画像の自動調整

場合によっては、PC 信号の画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、**AUTO** を押しします。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

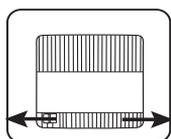
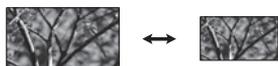
下図のように、現在の入力ソース情報がスクリーンの隅に 3 秒間表示されます。

- ☞ この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。

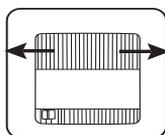
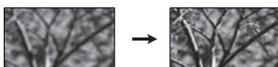
クイックリリース ボタンは熱風が出る排気孔の近くにありまので、このボタンを押すときには注意してください。

画像サイズと明瞭さの微調整

投写画像のサイズを調整するには、レンズ調整パネルカバーを開いた後で、プロジェクターでズームリングを使います。



画像を鮮明にするには、レンズ調整パネルカバーを開き、プロジェクターのピントリングで調整します。

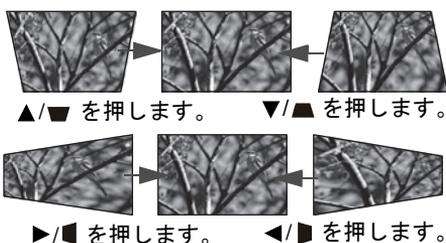


台形補正

台形補正とは、投写画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなってしまふ状態のことです。プロジェクターがスクリーンに対して垂直でないときに生じます。

プロジェクターの高さを調整するほか、次のいずれかの手順に従って手動で修正する必要があります。

1. 次のいずれかの操作を実行すると、**台形補正**画面が表示されます。
 - プロジェクターの ▲/▼ または ▼/▲ を押します。
 - リモコンの ▲/▼ または ▼/▲ を押します。
 - 表示メニューを開き、**台形補正**を選択して **ENTER** を押します（OSDメニューにアクセスする手順については、「[OSDメニューの使用方法](#)」を参照してください）。
2. 次の図は、台形補正の歪みを補正する方法を示しています。



- 画像下部の台形補正を補正するには、▲ または ▲/▼ を使用します。
- 画像上部の台形補正を補正するには、▼ または ▼/▲ を使用します。
- 画像左側の台形補正を補正するには、► または ►/◄ を使用します。
- 画像右側の台形補正を補正するには、◀ または ◀/▶ を使用します。

完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

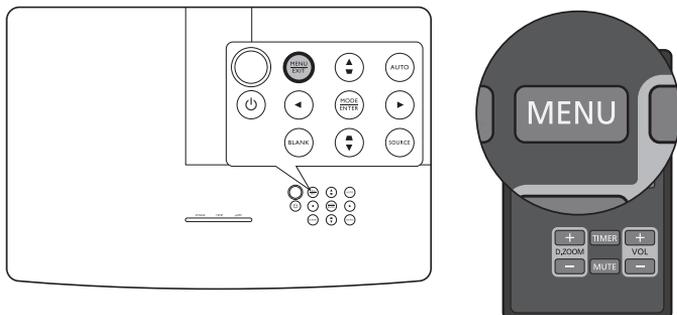
相当する画像の角です。

21 ページの「[角調整](#)」を参照してください。

メニュー機能

OSD メニューについて

OSD メニューにアクセスするには、**MENU** を押します。



OSD メニューの使用方法



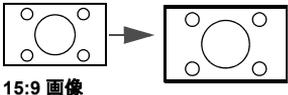
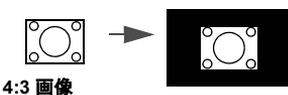
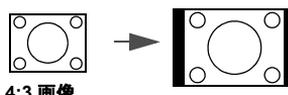
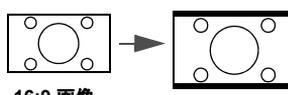
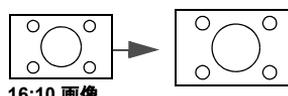
OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンで **MENU** を押します。次のメインメニューで構成されています。詳細は、次のメニューアイテムのリンクをご覧ください。

1. 表示メニュー (21 ページ参照)
2. ピクチャーメニュー (23 ページ参照)
3. ソースメニュー (25 ページ参照)
4. システム設定：基本メニュー (26 ページ参照)
5. システム設定：詳細メニュー (27 ページ参照)
6. 情報メニュー (29 ページ参照)

使用可能なメニュー アイテムは、接続されたビデオソースか、指定した設定により異なります。使用できないメニュー アイテムは、グレー表示されます。

- プロジェクターからリモコンの矢印キー (◀/▶/▲/▼) を使って、メニューアイテムを移動します。
- **ENTER** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。

表示メニュー

サブメニュー	機能と説明
スクリーンカラー	白以外の投写壁に投写するときに、投写画像の色を補正します。これらのオプションから、投写壁の色に近い色を選択できます： 薄い黄色、ピンク、薄い緑色、青、黒板。
縦横比	<p>☞ 下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。</p> <ul style="list-style-type: none"> オート  画像をプロジェクターのネイティブの解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。すると、スクリーンが最大限に使用され、画像の縦横比が維持されます。 リアル  スクリーンの中央が元の縦横比になるように画像を表示します。 4:3  スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるように画像を調整します。 16:9  スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるように画像を調整します。 16:10  スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるように画像を調整します。
台形補正	詳細は、「 台形補正 」を参照してください。
角調整	画像の 4 隅を手動で調整できます。 <ol style="list-style-type: none"> ENTER を押すと角調整画面が表示されます。 ▲/▼/◀/▶ を使って調整したい角を選択し、ENTER を押します。 ▲/▼/◀/▶ を使って選択した角の形状を調整します。 角調整画面に戻って別の角を選択したり、終了したりするには、MENU を押します。
位置	位置 画面が開きます。プロジェクターリモコンの矢印キーを使って、投写画像の位置を調整します。 キーを押すたびに、画面の下の方に表示される値が変わります。 ☞ この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。

位相	<p>クロック位相を調整して画像の歪みを縮減します。</p> <p> この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
水平サイズ	<p>画像の幅を調整します。</p> <p> この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
デジタルズーム	<p>画像を拡大し、その詳細を表示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ENTER を押すと、ズームバーが表示されます。 2. ▲ を繰り返し押すと、投写画像を任意のサイズに拡大できます。 3. 映像をナビゲートするには、ENTER を押してパンモードに切り替えて、矢印キー (▲/▼/◀/▶) を押します。画像は拡大しなければナビゲートできません。詳細を検索しながら、画像をさらに拡大することができます。 4. 画像サイズを縮小するには、ENTER を押してズームイン/アウト機能に戻ります。AUTO を押すと、元のサイズに戻ります。また、元のサイズに戻るまで、繰り返し ▼ を押すこともできます。 <p> この機能にはリモコンからアクセスできます。</p>
3D	<p>本機は、PlayStation コンソール (3D ゲームディスク使用)、3D Blu-ray プレーヤー (3D Blu-ray ディスク使用)、3D TV (3D チャンネル使用) 等、3D 対応ビデオ装置から転送された 3D コンテンツを再生できます。3D ビデオ機器をプロジェクターに接続した後は、DLP link 3D メガネを着用してオンになっていることを確認してください。</p> <p> 3D コンテンツをご覧になる際は、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像がずれて見えることがあります。これは故障ではありません。 • 3D コンテンツをご覧になる際は、適時休憩を取ってください。 • 疲労感や不快感を感じた場合は、3D コンテンツを見るのをやめてください。 • 3D コンテンツをご覧になる際は、スクリーンからの距離をスクリーンの実際の高さの 3 倍に保ってください。 • お子様および光に敏感な方、心臓疾患をお持ちの方、あるいはそれ以外の疾患をお持ちの方は、3D コンテンツをご覧にならないでください。 <p>デフォルト設定はオートで、3D コンテンツが検出された場合はプロジェクターが自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。プロジェクターが 3D フォーマットを識別できない場合は、必要に応じて 3D モードを手動で選択してください。</p> <p> この機能が有効なとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 投写画像の輝度レベル下がります。 • ピクチャモードは調整できません。 • 縦台形補正は一定角度内でしか調整できません。
3D 同期	<p>3D 画像が歪んでいるときには、この機能を有効にして左目と右目の画像を入れ替えると見やすくなります。</p>

ピクチャーメニュー

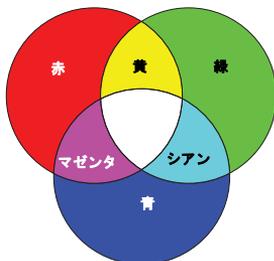
サブメニュー	機能と説明
ピクチャーモード	<p>操作環境に最も合ったプリセットのピクチャーモードと、入力信号の画像タイプを選択します。</p> <p>プリセットのピクチャーモードの説明は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プレゼンテーション：プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。 • スタンダード：コンピュータスクリーンやカラフルな映像（ムービー）を投写するのに適しています。 • sRGB：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようになりリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。 • ムービー：彩度とコントラストが最適なバランスであり、明度が低い、全くの暗室（映画館など）でムービーを楽しむのに適しています。 • ユーザー設定 1/ユーザー設定 2：カスタム設定を呼び出します。ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 を選択した後は、選択した入力信号に応じて、表示メニューの中の一部のサブメニューを調整できます。
<p>次の機能は、ピクチャーモードがユーザー設定 1 またはユーザー設定 2 に設定されているときに使用できます。</p>	
明るさ	<p>画像の輝度を調整します。このコントロールを調整すると、画像の黒い領域が単純に黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。</p>  <p>値を上げると画像が明るくなり、値を下げると画像が暗くなります。</p>
コントラスト	<p>画像の明るさと暗さの差を調整します。明るさ値を調整した後は、コントラストを調整してピークのホワイトレベルを設定してください。</p>  <p>値を高くするほどコントラストが増加します。</p>
色の濃さ	<p>彩度レベル - ビデオ映像の各色の量を調整します。設定値を低くすると色の飽和レベルが低くなり、最低値に設定するとモノクロ画像になります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。</p> <p> この機能はビデオ、S ビデオまたはコンポーネント信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
色合い	<p>画像の赤と緑を調整します。</p> <p>値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。</p> <p> この機能はビデオまたは S ビデオ信号が選択され、システムフォーマットが NTSC の場合にしか使用できません。</p>

<p>シャープネス</p>	<p>画像がシャープまたはソフトになるように調整します。</p>  <p>値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。</p> <p> この機能はビデオ、Sビデオまたはコンポーネント信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
<p>BrilliantColor™</p>	<p>この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50%以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質なイメージを表示したい場合は、オンを選択してください。オフを選択すると BrilliantColor™ が無効になり、色温度に同時にアクセスすることはできなくなります。</p>
<p>色温度*</p>	<p>色温度* 設定のオプションは、接続した入力信号によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高：画像を青みがかった白で表示します。 • 中：白の色合いを通常に保ちます。 • 低：画像を赤みがかった白で表示します。

3D カラーマネージメント

6色 (RGBCMY) を調整することができます。どれでも選択してその色域や彩度を調整してください。

1. **ENTER** を押すと **3D カラーマネージメント**画面が表示されます。
2. **色の選択** を選択し、◀/▶ を押して **R** (赤)、**G** (緑)、**B** (青)、**C** (シアン)、**M** (マゼンタ)、**Y** (黄) の中から色を選択します。
3. ▼ を押して、**色相** を選択し、次に ◀/▶ を押してその範囲を選択してください。範囲を広げると、隣り合う2色のより広い範囲の色が含まれます。



次の図は、色が互いに関係する様子を示しています。

例えば、**R** を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤しか選択されません。その範囲を広げると、黄色に近い赤とマゼンタに近い赤の両方が含まれます。

4. ▼ を押して、**彩度*** を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。たとえば、**R** を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤の彩度しか影響を受けません。
5. ▼ を押して、**明るさ** を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。たとえば、**R** を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤の輝度しか影響を受けません。
6. すべての調整が終わるまで、ステップ 2 から 5 を繰り返してください。
7. 完了したら、**MENU** を押して終了してください。

* 彩度について

ビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

ソースメニュー

サブメニュー	機能と説明
クイック自動検索	プロジェクターで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。 オン を選択して、プロジェクターが入力ソースをスキャンできるようにしてください。この機能が オフ になっている場合は、最後に使用した入力ソースが選択されます。

システム設定：基本メニュー

サブメニュー	機能と説明
プレゼンテーション タイマー	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリセット時間：機能を設定します。すでにタイマーがオンになっている場合は、プリセット時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。 • タイマー表示：次の期間、画面のタイマーを表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 常に表示する：プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。 • 1分/2分/3分：タイマーを最後の1/2/3分間だけ表示します。 • 常に表示しない：プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。 • タイマーの位置：タイマーの位置を設定します。 • カウント方法：カウント方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • カウントアップ：0からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。 • カウントダウン：あらかじめ設定した時間から0までカウントダウンします。 • サウンドリマインダー：サウンドによる通知を有効にするかどうかを設定します。有効にすると、カウントダウン/アップが残り30秒になると、ピーツという音が2回鳴り、タイプアップすると3回鳴ります。 • オン/オフ：オンを選択してタイマーを有効にします。オフを選択してタイマーをキャンセルします。
言語 (Language)	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
プロジェクタの投写 位置	詳細は、「場所の選択」を参照してください。
オートパワーオフ	長時間信号が何も検出されなければ、投写を停止します。詳細は、「オートパワーオフの設定」を参照してください。
12V トリガー	12VDC 出力端子で 12V 出力を有効または無効にします。
ブランクタイマー	<p>BLANK を押して画面を非表示にしているときには、消画時間を設定できます。消画中に何も操作が行われなければ、指定した時間が経過すると、画像は再度自動的に画面に表示されます。オーディオ入力を接続した状態で BLANK を押すと、サウンドは流れたままになります。プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、無効を選択してください。</p> <p>ブランクタイマーの有効/無効に関わらず、プロジェクターリモコンのほとんどのキーを押すと直ちに画像を戻すことができます。</p>

<p>パネルキーロック</p>	<p>プロジェクターのコントロールキーをロックしておく、(例えばお子様によって) プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。</p> <p>オンを選択してこの機能を有効にすると、 電源を除き、プロジェクターの全コントロール キーが作動しなくなります。</p> <p>キーをロック解除するには、プロジェクターで 3 秒間  を押ししてください。または、リモコンのオフを押してください。</p> <p> この機能にはリモコンまたはキーパッドからアクセスできます。</p>
<p>スリープタイマー</p>	<p>自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。</p>
<p>スプラッシュスクリーン</p>	<p>プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。JVC ロゴスクリーン、青スクリーン、または黒スクリーンのいずれかを選択できます。</p>

システム設定：詳細メニュー

サブメニュー	機能と説明
<p>高地対応モード</p>	<p>高地や温度が高い場所で使用するときのモードです。海拔 1500 m ~ 3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、この機能を使用されるようお勧めします。</p> <p>高地対応モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。</p> <p>上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地対応モードに切り替えてこのような現象を解決してみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。</p>
<p>オーディオ設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ミュート <p>オンを選択すると、プロジェクターの内部スピーカー、またはオーディオ出力端子から出力されるボリュームが一時的にオフになります。</p> <p>オーディオを復元するには、オフを選択します。</p> <p> この機能にはリモコンからアクセスできます。</p> • 音量 <p>プロジェクターの内部スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力端子から出力される音量を調整します。</p> <p> この機能にはリモコンからアクセスできます。</p> <p> ミュート機能が有効になっている場合は、音量を調整するとミュート機能がオフになります。</p> • マイクロフォンの音量 <p>マイクロフォンの音量調整</p>
<p>メニュー設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メニュー表示時間 <p>最後にキーを押してから OSD の表示時間を設定します。</p> • メニュー位置 <p>OSD メニューの位置を選択します。</p>

<p>ランプ設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ランプモード プロジェクターのランプの電源モードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • ノーマル：ランプを完全に明るくします。 • エコ：システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。 <p>エコモードを有効にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。詳細は、「ランプモードの設定」を参照してください。</p> • タイマーのリセット この機能は新しいランプが装着された後に使用できるようになります。リセットを選択すると、「リセットしました」というメッセージが表示されてランプ時間が「0」にリセットされます。 • ランプ時間 プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。
<p>セキュリティ設定</p>	<p>セキュリティを高め、不正使用を防止するためにパスワードを設定することができます。パスワードを知っているユーザーのみプロジェクターを操作できるようにします。パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。</p> <p>⚠ パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。</p> <p>まだパスワードを設定していない場合は、新しいパスワード設定するよう要求されます。画面に示す通り、4 つの矢印キー（▲/▶/▼/◀）はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを使って 6 桁のパスワードを設定してください。数字を入力すると、***** のようにアスタリスクで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスワードの変更 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。 • 電源ロック 設定を変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。 <p>⚠ 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。</p> <p>⚠ パスワードを忘れた場合は、パスワード機能をリセットします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクターを終了します。 2. 電源コードを抜きます。 3. 電源コードを繋ぐまで、MENU と ▶ を長押しします。 4. これでパスワード機能がリセットされ、電源ロックがオフになりました。パスワードを入力せずにプロジェクターをオンにすることができます。初めてパスワードを設定するときのように、電源オンロック機能をアクティベートすることもできます。

<p>クローズドキャプション</p>	<ul style="list-style-type: none"> クローズドキャプション 選択した入力信号にクローズドキャプション*がある場合は、オンを選択すると機能が有効になります。 *キャプションについて TV番組や動画のダイアログ、ナレーション、サウンド効果が画面に表示されます（TV番組表には通常「CC」と表記されます）。 キャプションチャンネル クローズドキャプションモードを選択します。キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、CC4（CC1はお住まい地域の第一言語でキャプションを表示します）を選択します。
<p>LAN 設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待機 LAN プロジェクターがスタンバイモードのときには、ネットワーク機能を提供できません。ネットワーク機能についての詳細は、「プロジェクターを遠隔操作する」をご覧ください。 PJLink 認証、PJLink パスワードを変更 詳細は、「PJLink™ のパスワード機能を使用する」を参照してください。 AMX デバイス検索 AMX コントローラでプロジェクターを検出できるようにします。 DHCP、プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、適用 詳細は、「LAN 設定を行う」を参照してください。
<p>全設定リセット</p>	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p> 次の設定は現在の設定値のまま維持されます：言語 (Language)、プロジェクタの投写位置、高地対応モード、セキュリティ設定、LAN 設定。</p>

情報メニュー

サブメニュー	機能と説明
現在のシステム状態	
ソース	現在の信号ソースが表示されます。
ピクチャモード	ピクチャーメニューの現在のピクチャモードが表示されます。
カラーフォーマット	入力システムフォーマットが表示されます。
解像度	入力ソースの最高解像度が表示されます。
ランプ時間	ランプの使用時間数が表示されます。

 一部の情報は、特定の入力ソースでしか表示されません。

OSD メニューの構造

OSD メニューは、選択した入力タイプによって異なります。

	メインメニュー	サブメニュー	オプション	
表示		スクリーンカラー	オフ / 薄い黄色 / ピンク / 薄い緑色 / 青 / 黒板	
		縦横比	オート / リアル /4:3/16:9/16:10	
		台形補正		
		角調整		
		位置		
		位相		
		水平サイズ		
		デジタルズーム		
		3D	オート / Frame Sequential / Frame Packing / Top-Bottom / Side By Side / オフ	
		3D 同期	ノーマル / 逆転	
ピクチャー		ピクチャーモード	プレゼンテーション / スタンダード / sRGB / ムービー / ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2	
		明るさ		
		コントラスト		
		色の濃さ		
		色合い		
		シャープネス		
		BrilliantColor™	オン / オフ	
		色温度	高 / 中 / 低	
			色の選択	R/G/B/C/M/Y
		3D カラーマネージメント	色相 彩度 明るさ	
ソース		クイック自動検索	オン / オフ	
システム設定： 基本			プリセット時間	1 ~ 240 分
			タイマー表示	常に表示する / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 常に表示しない
		プレゼンテーションタイマー	位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下
			カウント方法	カウントダウン / カウントアップ
			サウンドリマインダー	オン / オフ
				オン / オフ
		言語 (Language)		English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Русский / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Svenska / Türkçe / Čeština / Português / Polski / Magyar / Nederlands / Dansk
		プロジェクタの投写位置		前面投写 / リア投写 / 天井前面投写 / 天井リア投写
		オートパワーオフ		無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分
		12V トリガー		オフ / オン
	ブランクタイマー		無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分	
	パネルキーロック		オフ / オン	
	スリープタイマー		無効 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間	
	スプラッシュスクリーン		黒 / 青 / JVC	

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
システム設定： 詳細	高地対応モード	オン / オフ	
	オーディオ設定	ミュート	オフ / オン
		音量	
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
	ランプ設定	ランプモード	ノーマル / エコ
		タイマーのリセット	リセット / キャンセル
	セキュリティ設定	パスワードの変更	
		電源ロック	オン / オフ
	クローズドキャプション	クローズドキャプション	オン / オフ
		キャプションチャンネル	CC1/CC2/CC3/CC4
	LAN 設定	待機 LAN	オフ / オン
		PJLink 認証	オフ / オン
		PJLink パスワードを変更	
		AMX デバイス検索	オフ / オン
		DHCP	オン / オフ
		プロジェクトターの IP アドレス	
		サブネットマスク	
		デフォルトゲートウェイ	
		DNS サーバー	
適用			
全設定リセット	リセット / キャンセル		
情報	現在のシステム状態	ソース	
		ピクチャ モード	
		カラーフォーマット	
		解像度	
		ランプ時間	

プロジェクターを遠隔操作する

LAN ケーブルが正しく接続されており、LAN コントロール設定も正しく設定されていると、プロジェクターとコンピュータが同じ LAN に接続されている場合は、ウェブブラウザや PJLink™ アプリケーションを使ってコンピュータからプロジェクターを操作することができます。このプロジェクターは、Crestron® ソフトウェアおよび PJLink™ に対応しています。

LAN 設定を行う

OSD メニューにアクセスする手順については、「[OSD メニューの使用方法](#)」を参照してください。

DHCP 環境の場合：

1. プロジェクターとコンピュータが同じ LAN に接続されているか確認してください。
2. **システム設定**：詳細 > **LAN 設定** を選択し、**ENTER** を押してください。
3. すると **LAN 設定** ページが表示されます。
4. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して **オン** を選択してください。
5. ▼ を押して **適用** を選択し、**ENTER** を押してください。
6. 15 - 20 秒ほどお待ちになると、**LAN 設定** ページが再度開きます。
7. すると **プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバー** 設定が表示されます。**プロジェクターの IP アドレス** 列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

それでもプロジェクターの IP アドレスが表示されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

LAN ケーブルが正しく接続されていない場合は、**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー** の設定が 0.0.0.0 と表示されます。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認した後で、上記の注意を再度確認してください。

非 DHCP 環境の場合：

1. プロジェクターとコンピュータが同じ LAN に接続されているか確認してください。
2. **システム設定**：詳細 > **LAN 設定** を選択し、**ENTER** を押してください。
3. すると **LAN 設定** ページが表示されます。
4. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して **オフ** を選択してください。
5. ネットワーク管理者から **プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー** 設定などの情報を取得してください。
6. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し、**ENTER** を押します。
7. ◀/▶ を押してカーソルを動かし、▲/▼ を押して値を入力します。
8. 設定を保存するには、**ENTER** を押します。設定を保存しない場合は、**MENU** を押します。
9. ▼ を押して、**適用** を選択し、次に **ENTER** を押してください。

LAN ケーブルが正しく接続されていない場合は、**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー** の設定が 0.0.0.0 と表示されます。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認した後で、上記の注意を再度確認してください。

ウェブブラウザを使ってプロジェクターを操作する (e-Control™)

プロジェクターの正しい IP アドレスを取得し、プロジェクターがオンまたはスタンバイ状態になると、同一 LAN に接続されているコンピュータを使ってプロジェクターを操作することができます。

この機能を使用するには、Adobe Flash Player をコンピュータにインストールする必要があります。Adobe Systems Incorporated のウェブサイトから最新版の Adobe Flash Player をダウンロードしてください。

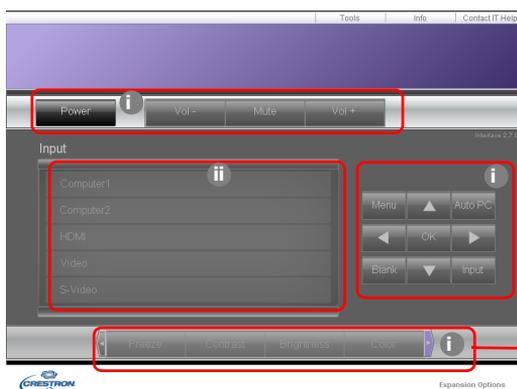
☞ **推奨 OS : WinXP、Win7、Win8.1、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7。**

1. ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力し、Enter を押します。(例 : <http://192.168.0.146/>)



☞ **推奨ウェブブラウザ : IE11、Chrome 44.0 以前のバージョン。**

2. リモート ネットワーク 操作 ページが表示されます。このページでは、リモコンやプロジェクターのコントロール パネルを使用する場合と同じようにプロジェクターを操作できます。



- i. これらのボタンは、OSD メニューやリモコンのボタンを同じように作動します。
- ii. 入力ソースを切り替えるには、任意のソースをクリックしてください。

3. Tools（ツール）ページでは、このプロジェクターでプロジェクターを管理したり、LAN 操作の設定を行ったり、リモートネットワーク操作のセキュアアクセスを設定したりすることができます。

The screenshot shows the Crestron Control web interface. At the top, there are tabs for 'Tools', 'Info', and 'Contact IT Help'. The 'Tools' tab is selected. Below the tabs, there are several configuration sections, each with a 'Send' button and an information icon (i):

- Crestron Control (i):** P Address: 255.255.255.255, IP ID: 7, Port: 41794.
- Projector (ii):** Projector Name: LX-WX50, Comment: , Assigned To: JVC Projector.
- User Password (iv):** Enabled checkbox, New Password field, Confirm field.
- DHCP (iii):** DHCP: Enabled, IP Address: 10.82.30.88, Subnet Mask: 255.255.255.0, Default Gateway: 10.82.30.254, DNS Server: 10.82.12.11.
- Admin Password (v):** Enabled checkbox, New Password field, Confirm field.
- Exit (vi):** Exit button.

At the bottom of the page, there is a 'CRESTRON connected' logo and 'Expansion Options' text.

- i. Crestron Control システムを使用する場合は、その設定方法については Crestron Control システムの取扱説明書をお読みください。
 - ii. プロジェクターに名前を付けたり、プロジェクターの場所や担当者を追跡したりすることができます。この列は長さ制限があります。
 - iii. LAN 設定を調整できます。
 - iv. パスワードを設定すると、このプロジェクターのリモートネットワーク操作ページがパスワードで保護されます。この機能を有効にするには、「Enable」（有効にする）にチェックマークを付けて、New Password（新しいパスワード）欄にパスワードを入力してください。次に、Confirm（確認）欄に新しいパスワードを再度入力して確定してください。パスワード保護を無効にするには、チェックマークを外してください。
 - v. パスワードを設定すると、Tools（ツール）ページへのアクセスがパスワードで保護されます。パスワード機能の使い方については、ステップ iv をご覧ください。
 - vi. Exit（終了）を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。
- 調整後は、Send（送信）ボタンを押すとデータがプロジェクターに保存されます。パスワードを設定すると、Tools（ツール）ボタンの横に Log Out（ログアウト）ボタンが表示されます。
- 本書の下の欄に、設定したパスワードを書き留めておいてください。
- 万一、パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順でリセットすることができます。
- ウェブブラウザで e-Control™ のログを開きます。
 - プロジェクターの **MENU** と **▶** ボタンを 3 秒間長押しします。
 - 以上でパスワードがリセットされました。
- ソフトウェアは英語で表示されます。
- DHCP** をオンにすると、ウェブページへの接続が中断する可能性があります。その場合は、プロジェクターの新しい IP アドレスを確認して、新しいアドレスを入力してください。

4. Info（情報）ページには、本機の情報と状態が表示されます。



- i. Tools（ツール）ページで入力した情報がここに表示されます。初めて e-Control™ を使うときには、これらの欄は空欄になっています。
- ii. プロジェクターの状態が異常な時には、次の情報が表示されます。

エラー状態	説明
0 : No Error (0 : エラーなし)	プロジェクターは正常です。または以下の例以外の異常な状態です。
3 : Lamp fail (3 : ランプの故障)	ランプが点灯しない、または稼働中に切れました。
3 : Over Temp (3 : 過熱)	プロジェクターの温度が高すぎる、または検出できません。
3 : Fan Lock (3 : ファンロック)	ファンの回転速度を設定、または検出できません。
3 : Over Lamp Usage Time (3 : ランプの使い過ぎ)	ランプの警告メッセージが表示された後もランプが使用され続けています。

iii. Exit（終了）を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

- 5. 「Contact IT Help」（IT ヘルプに問い合わせる）を押すと、右上隅に HELP DESK（ヘルプデスク）画面が表示されます。同じ LAN に接続されている RoomView™ ソフトウェアにメッセージを配信できます。



詳細は、<http://www.crestron.com> と www.crestron.com/getroomview をご覧ください。

PJLink™ を使ってプロジェクターを操作する

本機はプロジェクター制御のために標準のプロトコル PJLink™ をサポートしており、他のモデルやメーカーのプロジェクターで同じアプリケーションを共有してプロジェクターの稼働状態を制御したり、監視したりすることができます。

PJLink™ について

- PJLink™ 機能を使用するには、PJLink™ アプリケーションが必要です。

- PJLink™ の仕様については、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（英名：Japan Business Machine and Information System Industries Association = 略称：JBMIA）のホームページをご覧ください。（<http://pjlink.jbmia.or.jp/english>）
- 本機は JBMIA PJLink™ クラス 1 の規格に準拠しています。PJLink™ クラス 1 に規定されるすべてのコマンドをサポートし、PJLink™ 規格仕様バージョン 1.4 に準拠することが確認されています。

PJLink™ のパスワード機能を使用する

PJLink™ アプリケーションを介した本機への不正アクセスを防止するために、パスワードを設定することができます。

OSD メニューにアクセスする手順については、「[OSD メニューの使用法](#)」を参照してください。

1. システム設定：詳細 > LAN 設定を選択し、ENTER を押してください。
2. すると LAN 設定ページが表示されます。
3. ▼ を押して、PJLink 認証を選択し、次に ◀/▶ を押してオンを選択してください。デフォルトのパスワードは「admin」です。
4. ▼ を押してパスワードの変更を選択し、ENTER を押してください。
5. 現在のパスワードを入力してください。◀/▶ を押して桁数を選択し、▲/▼ で 0-9、A-Z、a-z、記号を選択します。ENTER を押して確定します。

パスワードを忘れた場合は、「projectorcontroller」というパスワードをお使いください。

PJLink™ 対応コマンド

コマンド	説明	備考（パラメータ）
POWR	電源オン/オフ	0 = ランプ オフ 1 = ランプ オン
POWR?	電源の状態を問い合わせる	0 = スタンバイ 1 = ランプ オン 2 = 冷却 3 = ウォーミングアップ
INPT	入力切り替え	11 = COMPUTER1 12 = COMPUTER2
INPT?	入力切り替えについて問い合わせる	21 = ビデオ 22 = S ビデオ 31 = HDMI1 32 = HDMI2 33 = HDBaseT
AVMT	ミュート オン/オフ	10 = BLANK 無効 11 = BLANK 有効
AVMT?	無音の状態を問い合わせる	20 = 無音無効 21 = 無音有効 30 = BLANK および無音無効 31 = BLANK およ無音有効

ERST?	エラー状態を問い合わせる	第1バイト：ファンエラー、0または2 第2バイト：ランプエラー、0または2 第3バイト：温度エラー、0または2 第4バイト：常に0 第5バイト：常に0 第6バイト：その他のエラー、0または2 *0または2の意味は次のとおりです。 0 = エラーなし、2 = エラー
LAMP?	ランプの状態を問い合わせる	最初の値（1から4桁）：ランプ稼働時間の累計 （この項目は、ランプモードがエコの場合をもとにランプの稼働時間が計算されています。） 2番目の値：0 = ランプオフ、1 = ランプオン
INST?	有効な入力について問い合わせる	次の値が返されます。 「11 12 21 22 31」
NAME?	プロジェクターの名前について問い合わせる	Tools（ツール）ページで指定した名前が表示されます。
INF1?	メーカーの名前について問い合わせる	「JVC」と表示されます。
INF2?	型名について問い合わせる	「LX-WX50」と表示されます。
INFO?	その他の情報について問い合わせる	DMDの解像度が表示されます。
CLSS?	クラスの情報について問い合わせる	「1」と表示されます。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性/酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

☞ レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクターがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。

プロジェクター ケースのお手入れ

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する場合：

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、「[仕様](#)」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

ランプ時間の合計 = (ノーマルモードでの使用時間) + 4/5 x (エコモードでの使用時間)

ランプ時間を確認する：

1. **MENU** を押します。
2. 矢印キー (◀/▶/▲/▼) を使って、**情報**または**システム設定：詳細 > ランプ設定 > ランプ時間**を選択します。
3. **ランプ時間**情報が表示されます。
4. **MENU** を押して終了します。

ランプ寿命を延長する

投写ランプは消費アイテムです。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSDメニューで次の設定を行ってください。

OSDメニューにアクセスする手順については、「[OSDメニューの使用法](#)」を参照してください。

ランプモードの設定

プロジェクターをエコモードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。

1. **システム設定：詳細 > ランプ設定 > ランプモード**を選択します。
2. ◀/▶ を押して任意のモードを選択したら、**ENTER** を押します。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

オートパワーオフの設定

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

1. **システム設定：基本 > オートパワーオフ**を選択します。
2. ◀/▶ を押して時間を選択します。プリセット時間の長さがプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンしません。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

ランプを交換する時期

ランプインジケータライトが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

ランプの温度が異常に高くなると、LAMP（ランプインジケータライト）およびTEMP（温度警告ライト）が点灯します。この場合は、電源をオフにして45分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにLAMPまたはTEMPインジケータライトが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、「インジケータ」を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

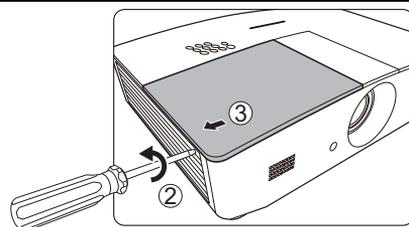
☞ 下の図は参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

状態	メッセージ
<p>ランプの動作時間が1500時間を超えました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクターをエコモードで起動している場合は（「ランプ時間を知るには」を参照してください）、1950時間のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクターを使用することができます。</p>	<p>お知らせ</p> <p>予備ランプを準備 ランプ>1500時間</p> <p>OK</p>
<p>ランプの動作時間が1950時間を超えました。ランプの動作時間が警告された時間を超えたら、事故が起きないように新しいランプに交換してください。</p>	<p>お知らせ</p> <p>間もなくランプ交換 ランプ>1950時間</p> <p>OK</p>
<p>ランプの動作時間が2000時間を超えました。</p> <p>この時点でランプを交換されるよう強くお勧めします。</p> <p>⚠ ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。ランプの使用時間が2000時間を超えたらランプを交換してください。</p>	<p>お知らせ</p> <p>今すぐランプ交換 ランプ>2000時間</p> <p>OK</p>
<p>プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。</p>	<p>警告</p> <p>ランプの所定時間を超過 ランプを交換し（説明書を参照）、 ランプ時間をリセットしてください</p> <p>OK</p>

ランプの交換

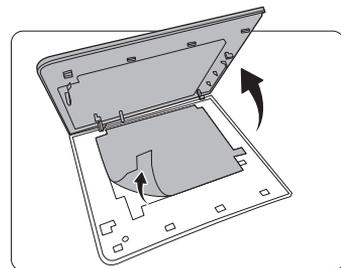
- ⚠ 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。
- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクターを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。
- プロジェクターを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして指定されたプロジェクター用ランプを購入されることをお勧めします。
- 破損したランプを処理するときには、部屋の換気をしっかりと行ってください。マスク、防護メガネ、ゴーグル、またはフェースシールドを着用になり、手袋など身体を保護するものも着用することをお勧めします。

- 電源をオフにして、プロジェクターをコンセントから抜きます。ランプが熱すぎるときには、ランプが冷却されるまで約 45 分間待ってください。
- プロジェクターの上部にある、ランプカバーを固定しているネジを緩めます。
- ランプカバーを押して開きます。

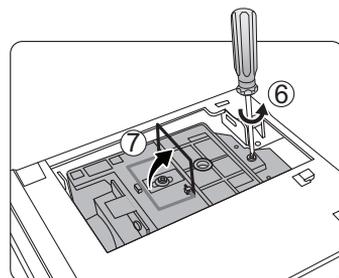


- プロジェクターからランプカバーを外します。
- 新しいフィルムを同じ場所に貼るために、ランプ保護フィルムの位置を確認してください。その後で、ランプの保護フィルムをはがして破棄してください。

- ⚠ ランプカバーを外した状態で電源を入れないでください。
- ランプとプロジェクターの間に指を入れると、プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合がありますのでご注意ください。



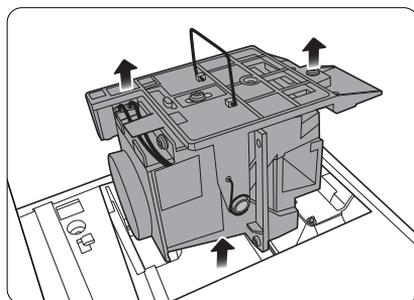
- ランプを固定しているネジを緩めます。
- ハンドルを持ち上げます。



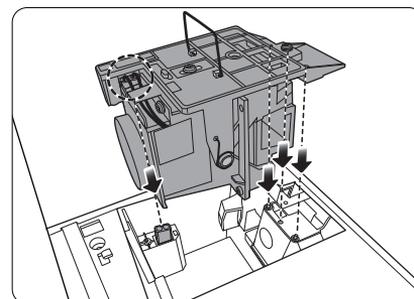
8. ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクターから引き出します。



- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクター内に散乱します。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出す際は、プロジェクター内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに手を触れると、色が均等に表示されなくなったり、投写画像が歪んだりする場合があります。



9. 図に示す通り、新しいランプを下ろしてください。

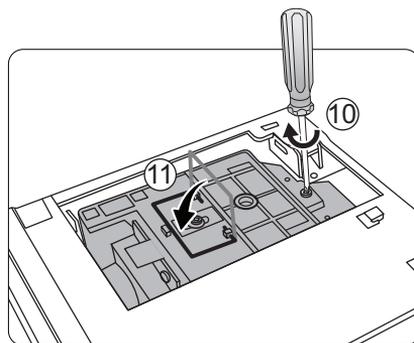


10. ランプを固定するネジを締めます。

11. ハンドルをフラットに倒して、しっかりとロックしてください。

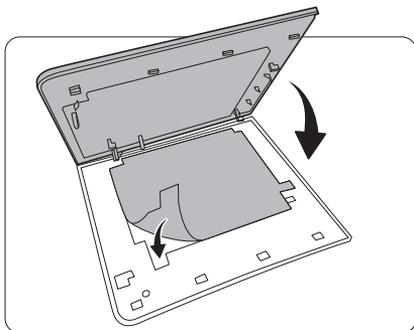


- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。



12. ランプ保護フィルムを外します。

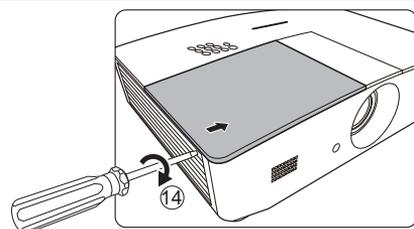
13. プロジェクターにランプカバーを戻します。



14. ランプカバーを固定しているネジを締めます。



- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。



15. 電源を接続し、プロジェクターを再起動します。

16. スタートアップ ロゴが表示されたら、OSD メニューからランプタイマーをリセットしてください。



ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

「リセットしました」というメッセージが表示されてランプ時間が「0」にリセットされます。

インジケータ

プロジェクターの状態を示すインジケータライトは3個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクターの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

ライト			状態と説明
POWER	TEMP	LAMP	
			
電源の状況			
オレンジ色	オフ	オフ	スタンバイ モードです
緑 点滅	オフ	オフ	電源を入れています
緑	オフ	オフ	通常動作状態です
オレンジ色 点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却
赤 点滅	オフ	オフ	ダウンロード中
緑	オフ	赤	CW スタート失敗
赤	オフ	オフ	スケーラ リセット失敗
緑	オフ	オフ	書き込みオン
緑	緑	緑	書き込みオフ
ランプの状況			
オフ	オフ	赤	通常動作時にランプ エラー発生
オフ	オフ	赤 点滅	ランプが点灯していません
温度の状況			
赤	赤	オフ	ファン 1 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
赤	赤 点滅	オフ	ファン 2 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
赤	緑	オフ	ファン 3 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
赤	緑 点滅	オフ	ファン 4 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
赤 点滅	赤	オフ	ファン 5 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
赤 点滅	赤 点滅	オフ	ファン 6 エラー (実際のファン速度が適正速度よりも+25% オーバー)
緑	赤	オフ	温度 1 エラー (上限温度オーバー)

問題を解決する

問題	原因	対応
プロジェクターの電源がオンにならない。	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクターの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっているかを確認してください。
	冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。
画像が映らない。	ビデオソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクターが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
	入力ソースが正しく選択されていません。	プロジェクターまたはリモコンの SOURCE キーで正しい信号を選択してください。
イメージが不安定です。	接続ケーブルがプロジェクターまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
イメージがぼやける。	投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせてください。
	プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
	レンズカバーが閉じられたままです。(該当する場合)	レンズカバーを外してください。(該当する場合)
リモコンが機能しない。	電池が切れています。	新しい電池に交換します。
	リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
	プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。
3D コンテンツが正しく表示されない。	3D メガネの電池が切れています。	3D メガネを充電してください。
	3D メニューで正しく設定されていません。	3D メニューで正しい設定を行ってください。
	Blu-ray ディスクが 3D フォーマットではありません。	3D Blu-ray Disc を使用して、もう一度やり直してください。
	入力ソースが正しく選択されていません。	プロジェクターまたはリモコンの SOURCE キーで正しい信号を選択してください。

仕様

プロジェクターの仕様

☞仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学仕様

解像度

1280 (H) x 800 (V)

ディスプレイ システム

シングルチップ DLP™ システム

レンズ

F = 2.45 ~ 3.07、f = 15.75 ~ 25.1 mm

ランプ

370 W ランプ

電気仕様

電源

AC100~240V、6 A、50-60 Hz (自動)

電力消費量

594 W (最大) ; < 0.5 W (スタンバイ) ;
< 3 W (ネットワーク スタンバイ)

出力端子

スピーカー

(ステレオ) 10 W x 2

自動信号出力

PC オーディオ端子 x 1

12VDC (最大 0.5 A) x 1

操作

RS-232 シリアル コントロール

9 ピン x 1

IR 受信機 x 2

LAN コントロール

RJ45 x 1

入力端子

コンピュータ入力

RGB 入力

D-Sub 15 ピン (メス) x 1

ビデオ信号入力

S ビデオ

Mini DIN 4-pin ポート x 1

ビデオ

RCA 端子 x 1

SD/HDTV 信号入力

アナログ - コンポーネント RCA 端子 x 3

(RGB 入力経由)

デジタル - HDMI x 2

オーディオ信号入力

オーディオ入力

RCA オーディオ端子 (L/R) x 2

PC オーディオ端子 x 1

USB ポート (Type-A x 1、Mini-B x 1)

環境要件

動作温度範囲

0°C ~ 40°C (海拔)

動作相対湿度

10%~90% (結露なきこと)

動作高度

0~1499 m (0°C~35°C)

1500~3000 m (0°C - 30°C のとき、
高地対応モードオン)

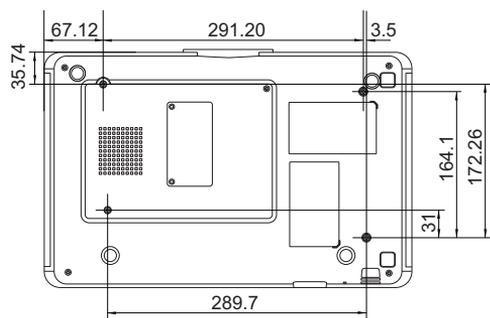
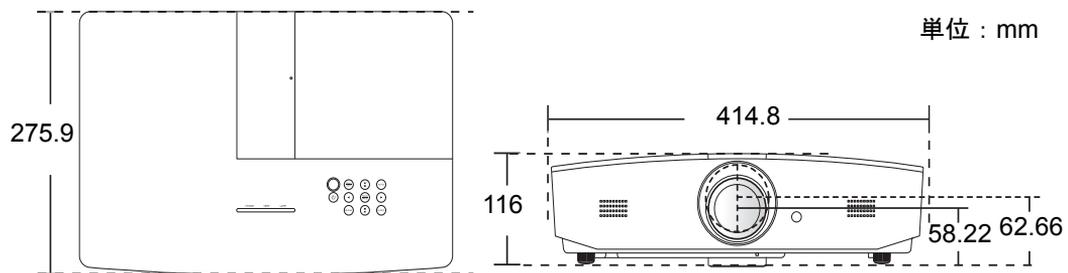
機械的仕様

重量

4.9 Kg

外形寸法

414.8 mm x 275.9 mm x 116 mm (幅 x 奥 x 高)



天井取り付けネジ : M5

(最長 = 25 mm ; 最短 = 20 mm)

タイミングチャート

サポートされる PC 入力のタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波 数 (MHz)
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
640 x 480	VGA_60*	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
800 x 600	SVGA_60*	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60*	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60*	60	45.000	74.250
1280 x 768	1280 x 768_60*	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60*	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60***	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500

1280 x 960	1280 x 960_60***	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60***	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60***	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60***	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA***	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60***	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60 (リデュースド ブランキング)	60	67.5	148.5
1920 x 1200@60Hz	1920 x 1200_60 (リデュースド ブランキング)	59.95	74.038	154

☞ *Frame Sequential、Top-Bottom、Side By Side フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

**Frame Sequential フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***Top-Bottom または Side By Side フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

フォーマット	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60*	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	SVGA_60*	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60*	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60*	60	45.000	74.250
1280 x 768	1280 x 768_60*	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60*	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120** (リデュースド ブランキング)	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60***	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60***	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500

1360 x 768	1360 x 768_60***	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60***	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60***	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA****	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60***	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60 (リデュースド ブランキング)	60	67.5	148.5
1920 x 1200@60Hz	1920 x 1200_60 (リデュースド ブランキング)	59.95	74.038	154

☞ *Frame Sequential、Top-Bottom、Side By Side フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

**Frame Sequential フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***Top-Bottom または Side By Side フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

****Top-Bottom フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480i*	720 x 480	59.94	15.73	27
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 x 576	50	15.63	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p**	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p**	1280 x 720	60	45.00	74.25
1080/24P**	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.13	74.25
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50i***	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i***	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5

☞ *Frame Sequential フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

**Frame Sequential または Top-Bottom フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***Side By Side フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

コンポーネント YPbPr 入力用にサポートされているタイミング

フォーマット	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480i	720 x 480	59.94	15.73	13.5
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 x 576	50	15.63	13.5
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45.00	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/24P	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.13	74.25
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5

S ビデオ / ビデオ入力用にサポートされているタイミング

フォーマット	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
NTSC	60	15.73	3.58
PAL	50	15.63	4.43
SECAM	50	15.63	4.25/4.41
PAL-M	60	15.73	3.58
PAL-N	50	15.63	3.58
PAL-60	60	15.73	4.43
NTSC4.43	60	15.73	4.43

保証と著作権について

保証

JVC は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、JVC の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が JVC の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度と高度は取扱説明書に記載される環境要件を満たす必要があります。また、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

著作権

Copyright © 2015. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、JVC の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

すべての商標と登録商標の所有権は、各社に帰属します。

おことわり

JVC は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、JVC は本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。